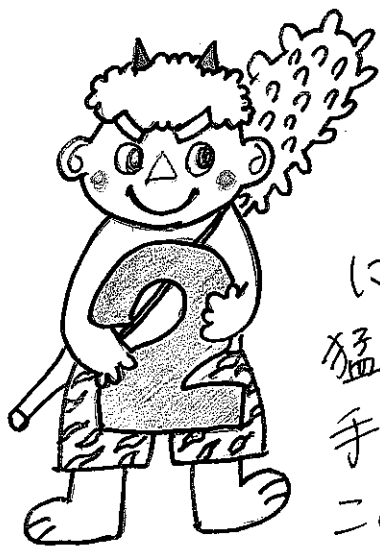


利根日石新聞



早くももう2月ですね。
インフルエンザが流行り、学校では学級閉鎖
になったり、早下校だったりこの利根沼田に
猛威をふるっています。皆さん大丈夫ですか？
手洗い・うがいで予防しましょう！
この節分で悪い菌もやっつけたいですね。

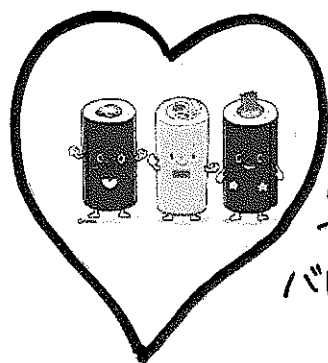


今年、三兄弟の次男が、高校受験なので
しかし当の本人は全く受験生らしくなく、
夜も早々に小学生の弟と同じ時間に帰っ
てしまう毎日です。この時期焦るのは親だけ
なのでしょか!?! 風邪ひかないように、おいしいご飯
を作って母は頑張ります! 家が福よ来い——!!

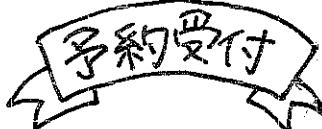


2009年11月1日
創刊
平成27年2月号
第0000064号

発行
利根日石株式会社
本社販売管理部
TEL: 0278-24-1635
FAX: 0278-23-7980



恵方巻きですが...



ヨリストックも販売しています。
ぜひ来年はお買い求め下さい!
バレンタインデーのチョコもぜひお買い求めください♡♡♡

おには
もとー!!



いいなー
男3人の子供たち
さみしいな〜

娘が**成人式**を向かえましたー。もう20歳にあちった。
私達の頃とは違って、髪セットも着物の着付けも2時間ほど
で、できました。それでも娘は、「何時になったら脱げるかなあ...」
とぼやいていました。甘い!! 母は夜中に順番まちだったぞ! *
文化会館には かによくスーツを着た男子、晴やかな着物の女子達
なつかしい顔が見れてうれしかったです。
翌日は小学校に、みんなの手紙を書いて校庭に埋めたカプセルを
掘りに出かけ、(凍って掘れないんじゃないかと思ったけど掘れたみたい)
担任だった先生とみんなで記念撮影 パチ📷 小学校の卒業アルバムと見くら
べてみると、みんな成長してる〜 あたりおただけで感激!! 親として楽しんだ成人の日でした。



どうなる!? 原油価格!

皆さんもご承知の通り、原油価格が下がり続けています。

原油が下がるのはガソリンも、軽油も、灯油も下がります。昨年の12月以降は特に**どんどん**下がっています。12月1日に161円だったセルフのレギュラーガソリンの標準価格は実に**7回**も価格改定が行われ、1月24日現在、**139円!**とたった2ヶ月足らずで20円以上安くなりました。(14%OFF!)

特に、この時期、灯油が安くなっているのが有難いです。12月1日に99円だったセルフ標準価格が同じく79円と、こちらも**20円**安くなりました。例年ですと需要期であるこの時期は需給が逼迫して価格が徐々に上がっていくのが通例です。近年は100円以上になってしまおうのが殆どでしたが、今年のように寒くなるにつれ、**どんどん**価格が下がるのはとても珍しい傾向です。言い換えると、毎年繰り返される季節による経済循環をひっくり返すほど、今回の原油安は**大きな動き**と言えます。

そもそも、どうしてこんなに原油が安くなってきたのでしょうか? 原油価格が動くのには幾つか理由があります。例えば、

- ① 地政学的リスク... 中東情勢の不安など
 - ② 世界的な需要増... 中国ほかアジアの発展に伴う化石燃料の消費増
 - ③ 投機資金の流入... オイルマネーの増加
 - ④ 産油国による生産量の削減... OPECによる目標生産量の削減など
- こちらは原油価格を押し上げる要因とされています。

逆に以下は原油価格を下げる要因とされています。

- ① 技術革新に伴う新しい油田開発... シェールオイルなど
- ② 世界的な需要鈍化... 中国や欧州での景気後退に伴う需要減
- ③ 投機資金の流出... オイルマネーの減少
- ④ 産油国による生産量の増強... OPECによる目標生産量の増強

とくに今回は①のシェールオイルと、④のOPECによる目標生産量の据え置きが大きな理由とされています。シェールオイルとは、一昨年より北米で生産され注目を集めている非在来型の掘削方法による新しい原油で、従来掘削が不可能とされてきた固い岩盤の中にあつた原油も効率的に取り出す新しい技術によって生産されています。生産コストは中東地域の在来型に比べると割高なもの、当時の原油価格(100\$~110\$)ならば十分見合う水準だったため、急速に生産量を伸ばしてきました。

この新たな原油が国際マーケットに**どっ**と流れ込んだ為、南米や欧州を始め、世界中で原油の在庫が増加し、その結果、需給が緩み原油価格を押し下げました。こうした中、下がり続ける原油価格をそろそろ引き上げる為、減産に踏み出すだろうと見られていたOPECが昨年11月に行われた会議の席上、減産を見送る決定をしました。

世界中の投資家や経済アナリストの殆どが減産するだろうと考えていたので、この決定は衝撃的でした。OPECはこの機会にシェールオイルを徹底的に叩き潰し、世界の原油シェアを再び奪い返す戦略に出たのです。事実、この決定(11月27日)以降、原油価格は坂道を転げ落ちるように下落を続けています。

こうして現在(@1月24日)、ドバイ原油は44.75~44.85\$となっています。昨年の7月まで100\$^{以上}(7月平均105.71\$)だったので、たった半年足らずで半分以下の水準まで下がったこととなります。**今後、どこまで下がるでしょうか?** 一般的にはシェールオイルの損益分岐点(生産コスト)まで下がるだろうと指摘されています。シェールオイルを生産する会社を破綻に追い込むためです。ではその損益分岐点はいくらか?

一概には言えませんが多くは40\$~60\$と見られているようです。現在の価格はほぼこの下限まで下がっているため事実、今月に入り、破綻するシェール用産会社が出てきました。ただ、一度稼働した生産設備は簡単には止められないため、「実際に北米産シェールオイルの生産量が減少に転じるのは2015年の後半になるだろう」と全国石油連盟の木村会長は記者会見で述べています。

ただし、原油価格は上に挙げた要因以外の影響でも変わります。

通貨ルーブルが暴落しているロシアの動き、国王が亡くなり王位継承されるサウジアラビアの動き、財政危機が心配されるギリシアとEJの動き等、今後は様々な要因による価格の上下動も予想されます。

いづれにしても、この冬の灯油代は数年ぶりの安い水準が続くでしょう。